

交通事故に気を付けて 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

県と県交通対策協議会主催の「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が7月16日から25日にかけて行われました。この運動は、交通安全思想の普及・浸透と交通ルールの遵守、交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。町と国見町の交通安全関

係団体は7月16日、道の駅国見あつかしの郷で街頭啓発活動を実施。約50人の参加者が買い物客に反射材などの交通安全グッズを配布。行楽シーズンに入り、長時間・長距離の運転が増えることから、無理のない計画で、休息を取ることの重要性を伝えながら、安全運転を呼びかけました。



▲街頭啓発活動を前に集結し、地域の交通安全を守る決意を新たにしました

県知事が町へ感謝状 個人県民税優良市町村

町は、県が実施する「個人県民税優良市町村知事表彰」で、収納率の向上などが評されたことにより、県知事から感謝状贈呈を受けました。贈呈式が8月5日、役場で行われ、県北地方振興局の今野一宏局長から高橋宣博町長へ感謝状が手渡されました。町の県民税の収納率は98・59%と前年度より0・06%上回り、昨年に引き続き9度目の受賞となりました。高橋町長は「今後も自主財源確保に向けて尽力する」と話しました。



(写真左から)谷雅泰委員長、佐藤浩哉教育長

義務教育学校基本構想等 検討委員会の検討結果報告

第6回桑折町義務教育学校基本構想等検討委員会が8月4日、役場で開かれました。本委員会では、2月から計6回にわたり、教育の基本方針や学校運営の方向性、施設整備の基本的な考え方などについて協議を重ね、

その検討結果を町教育委員会へ報告しました。町と町教育委員会では、この報告を尊重し、新しい学校づくりに向けて今後さらに検討を進め、「桑折町義務教育学校基本構想・基本計画」を策定します。



今野局長（右）から感謝状を受け取る高橋町長